



定員

100名

先着

The Naga motif in Lao weaving textiles.

ラオスの伝統織物に繰り返し登場する「ナーガ（龍神）」文様が、2023年にユネスコの無形文化遺産として登録されました。本講演では、長年にわたりラオスの織物文化の振興に携わってきた講師が、ナーガの意味や文化的な背景をひもときながら、登録されるまでの歩みを紹介します。ラオスの女性たちが過去から未来へと織り継いできた文様は、いま私たちに何を語りかけるのでしょうか。

日時 2025/11/3 月・祝 13:00-15:00 (12:30 開場) 会場 JR博多シティ10F大会議室

対象 | どなたでもご参加いただけます | 言語 | ラオス語（日本語 同時通訳あり） | 参加費 | 無料

登壇者

織物研究家、作家

ドアンドウアン・ブンニャウォン氏

Douangdeuane BOUNYAVONG

【略歴】

1947年ラオス・ヴィエンチャン生まれ。古典ラオス文学と伝統織物の研究で知られる。1990年に「ラオス美術・織物振興グループ」設立。1991年にはラオス女性同盟とユニセフによる織物保存プロジェクトのコンサルタントを務めた。ラオス内外での展示・保存活動を行い、2023年にはラオス伝統織物のユネスコ無形文化遺産登録に大きく貢献。現在はテキスタイル博物館「ランド・オブ・バンブー」代表、DOKKED 出版編集長。

【主な受賞歴】

2005年 福岡アジア文化賞（芸術・文化賞）
2006年 東南アジア文学賞（SEA Write Award）『森の魅惑』にて
名誉文学博士号 ラーチャバット・ロイエット大学（タイ・ロイエット県）

詳細・参加申込はこちら

参加申込締切：

2025/10/27 MON
17:00 まで



<https://q-aos.kyushu-u.ac.jp/events/events-qaos/7595/>